

地域資源再生開発研究所について

(R2Dラボ)

(Resource Reproduce Develop Laboratory)

仁徳地域商会

第4回語り場

令和3年12月4日(土)

徳地地域交流センター

1

I. 地域資源再生開発研究所は

(R2Dラボ)

何を目指すのか

- 今ある地域資源を掘り起こし
- 地域の困りごとに寄り添い
- それらに関連した事業を創り出し
- 生き生きして豊かな持続可能な
- 地域づくりに貢献する

2

II. R2Dラボは、 具体的に何をするのか

1. まつたけ再生・復活事業
2. よろず相談事業（生活弱者対応）
3. 粉炭・竹炭の事業者との連携
4. 使用済み資源再生事業（農機具等）
5. 動植物生態調査観察事業

3

III. 仁徳地域商会とは、 どんな関係か

○仁保地域と徳地地域が協力し合って地域づくりを進めることで名付けた名称の一翼（情報交流とその活用等）を担う

○協力関係として、特に人材不足の補強としての役割を果たす

○出資関係はない

4

IV. 今まで、どんなことをしてきたか

1. 設立総会 令和3年7月28日（水）

- ・会員8名全員出席
- ・代表選出 藤本充（全員一致）
- ・R2Dラボが目指すことを全員で共有

2. 定例会議2回 令和3年8月25日（水）、9月29日（水）

- ・活動拠点 ・会費 ・会則 ・まつたけ山入札
- ・元気生活圏応援事業助成金 ・エシカルバンパー協業
- ・事業計画立案



3. 活動拠点の決定・整備

- ・徳地堀商店街のど真ん中。警察署前。郵便局隣。借家。

4. まつたけ山入札&落札

- ・徳地引谷字小ツラ 37.99ha
林道（約1km）を全員で草刈等整備（地域に貢献）
- ・令和3年10月1日～12月31日及び令和4年5月1日～7月31日まで
- ・11月末まで5回入山、成果なし。唯一毒キノコあり（専門家確認）

落札した山



まつたけ狩り



5. 山口県元気生活圏元気創出事業助成金応募&採択

- ・助成金：25万円/年（初回活用分申請済み）3か年、10/10
- ・山口市定住促進課→NPO法人市民プロデュース→山口県中山間地域づくり推進課



落札した山
一境界線の確認



他者によるまつたけ
販売風景（南大門）

6. まつたけ専門家との打ち合わせ 10月22日（金）

- 林業技術センターのまつたけ専門家から、まつたけ山づくりについてご教授をいただいた

7. つわの蚕の市 出店

11月21日（日）

- 徳地「ゆめ工房」の商品を中心に展示し販売
- 特に、「竹かご」「竹とんぼ」が人気



V. どんな運営をしているか

- 会員は全て対等で、全員が経営者、上下関係や忖度は全くない
- 決め事は全て会員の話し合い、合意で決める
- 運営の仕方も会員が話し合って決める
- “出来ることから、出来る人が、出来るときに” が活動の原点
- 収支状況は常にオープンにする
- 報酬があれば会員の話し合いで決める
- 知りえた情報は開示し、隠し事が無い透明な運営とする
- 役員（代表1名、監事2名、事務局1名）は、話し合いで決める

VI. 会員になるにはどうすればよいか

- R2Dラボの趣旨に賛同される方
- 老若男女を問わない
- 一定額の出資（入会金、年会費）に承諾を頂いた方
- 徳地地域に居住している必要はない
- 地域活性化に貢献したい気持ちがある方
- 新しいことに挑戦する気持ちが強い方
- いつでも入退会できる
- 退会時における出資金は原則返却しない

9

VII. まつたけ再生事業はどう進めて行くのか

- まつたけ再生は「上手く行く」と言わずに「上手く行ったら良いな」ぐらいの**ゆるい気持ち**で取り組む
- 「**里山を守り、豊かな自然を次世代に繋げる**」ことが**活動の基本**
- 活動開始～5か月目 まつたけ山適地の選定、地元集落への承諾・協力依頼、各種備品の調達
- 4か月目～9か月目 山道の整備、休憩所・トイレの整備
- 5か月目～7か月目 活動の情報発信
- 7か月目～10か月目 まつたけ講師による研修（2回）
山仕事講師による研修（3回）

10